

# CSR REPORT

2018年  
CSR報告書



# 1. トップメッセージ

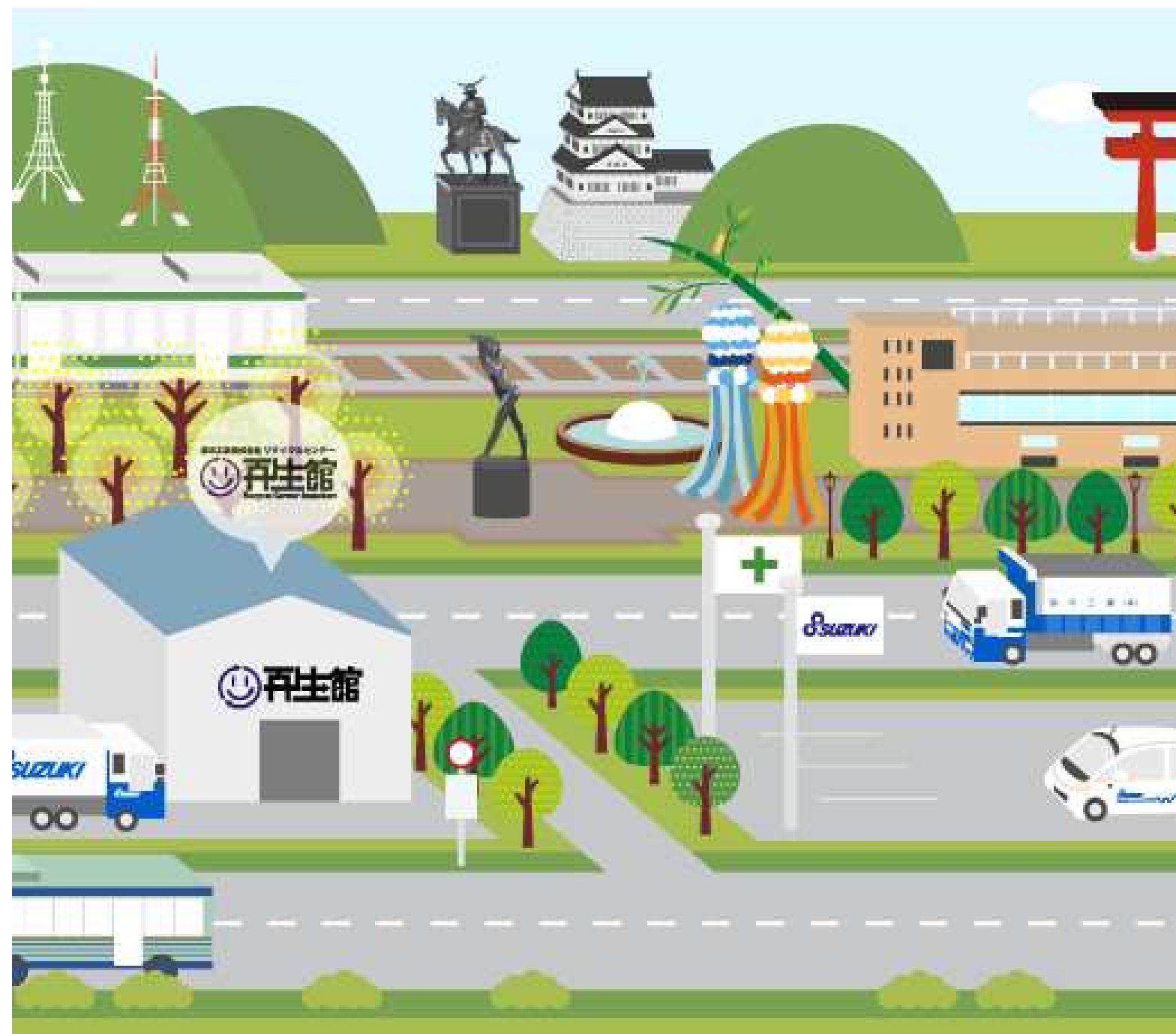
世界経済の著しい発展の陰で、地球規模での環境破壊が深刻化し人間社会の大きな痛みとなって表れてきています。一方、環境の改善を行う為に循環型社会形成推進基本法の整備も行われ、廃棄物の発生量を減らし、発生した廃棄物は再資源化に移行する等、排出事業者の3Rの意識は年々高まってきました。今後、持続可能な社会発展をさせていくには、循環型社会を構築しリサイクルへのあらゆる可能性にチャレンジしていくことが必要不可欠です。当社は1966年の創業から52年にわたり環境をテーマにお客様の課題解決を通じて社会と産業の発展に貢献して参りました。今後も、これまで蓄積してきた経験に新しい発想を取り入れながら地域に根差した *Good Company* = 「**選ばれる企業**」を目指していきますので、皆様のますますのご指導、ご厚情、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。



鈴木工業株式会社

代表取締役

鈴木 伸彌







## 会社情報

設立：昭和41年7月15日

事業内容

- ▶ 産業廃棄物収集・運搬及び中間処理
- ▶ 上下水道施設の清掃・メンテナンス
- ▶ 各種設備の工事・点検
- ▶ 燃料タンク工事・検査

## 目次

1. トップメッセージ	…	1
2. 2017年度産業廃棄物処理状況	…	3
3. 環境貢献活動	…	5
4. IMS -統合マネジメントシステム-	…	7
5. 社会貢献	…	11
6. BCM -事業継続マネジメント-	…	15
7. 測定結果	…	17



青い星、地球を守るための  
エネルギーがあふれています。

## 2. 2017年度産業廃棄物処理状況

鈴木工業株式会社は「ISO9001」「ISO14001」「OHSAS18001」の認証取得により、環境と労働安全衛生に十分な配慮をしながら品質の向上に取り組んでいます。各処理施設に必要なとされる技術資格者を配置し、確かな技術で廃棄物の処理・リサイクルを行ない、法令遵守の下、地球環境の保全に努めてまいります。

2017年度に弊社の処理施設へ受け入れた産業廃棄物の総量及び処理状況です。多品目の廃棄物に対して、適切な処理施設にて中間処理を行い、廃棄物の減容化、リサイクルに努めております。



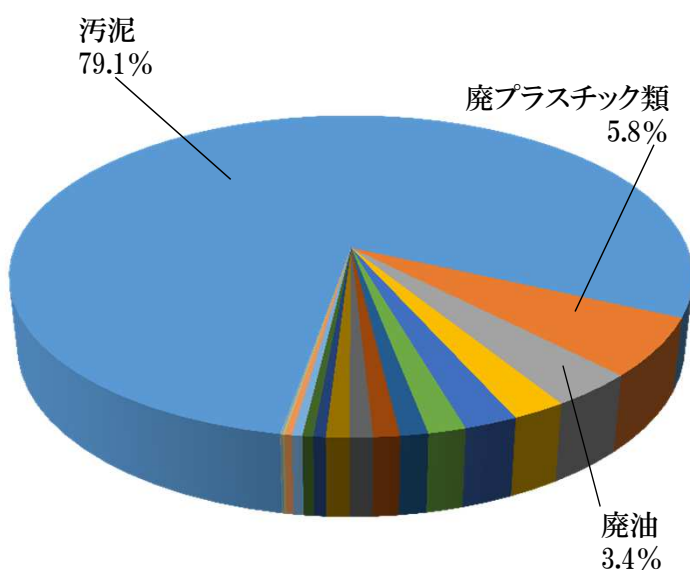
産業廃棄物処理施設 「エコミュージアム21」

### ■ 受入総量及び品目割合

廃棄物受入総量

16,204.3 t (前年度比 7.0%増)

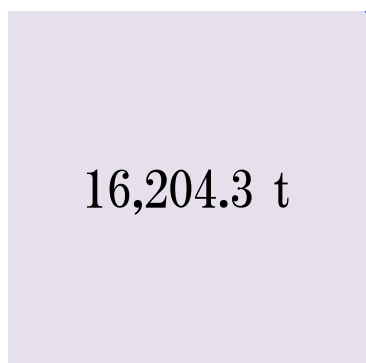
#### ◆ 品目割合



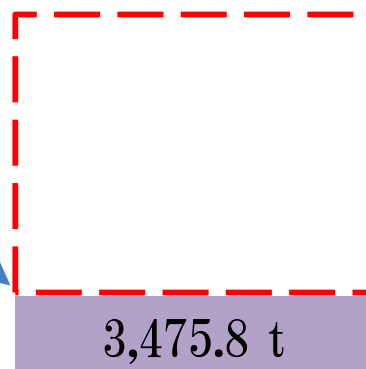
産業廃棄物の種類	受入量(t)	割合(%)
◆ 汚泥	12,810.2	79.1
◆ 廃プラスチック類	946.1	5.8
◆ 廃油	557.9	3.4
◆ 動植物性残さ	353.3	2.2
◆ 感染性産業廃棄物	348.9	2.2
◆ 木くず	246.2	1.5
◆ 金属くず	181.3	1.1
◆ 引火性廃油	170.7	1.1
◆ 廃酸	151.1	0.9
◆ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	149.0	0.9
◆ 動物系固形不要物	78.9	0.5
◆ 燃えがら	69.6	0.4
◆ 廃アルカリ	66.2	0.4
◆ 汚泥(有害)	47.8	0.3
◆ 燃えがら(有害)	14.3	0.1
◆ 強酸	5.9	0.1未満
◆ 強アルカリ	5.6	0.1未満
◆ 紙くず	1.3	0.1未満
◆ 繊維くず	0.1	0.1未満

## 産業廃棄物処理状況

廃棄物受入総量



中間処理後数量



減容率

78.6%

(前年度比 7.0%増)

処分委託

中間処理・埋立処分

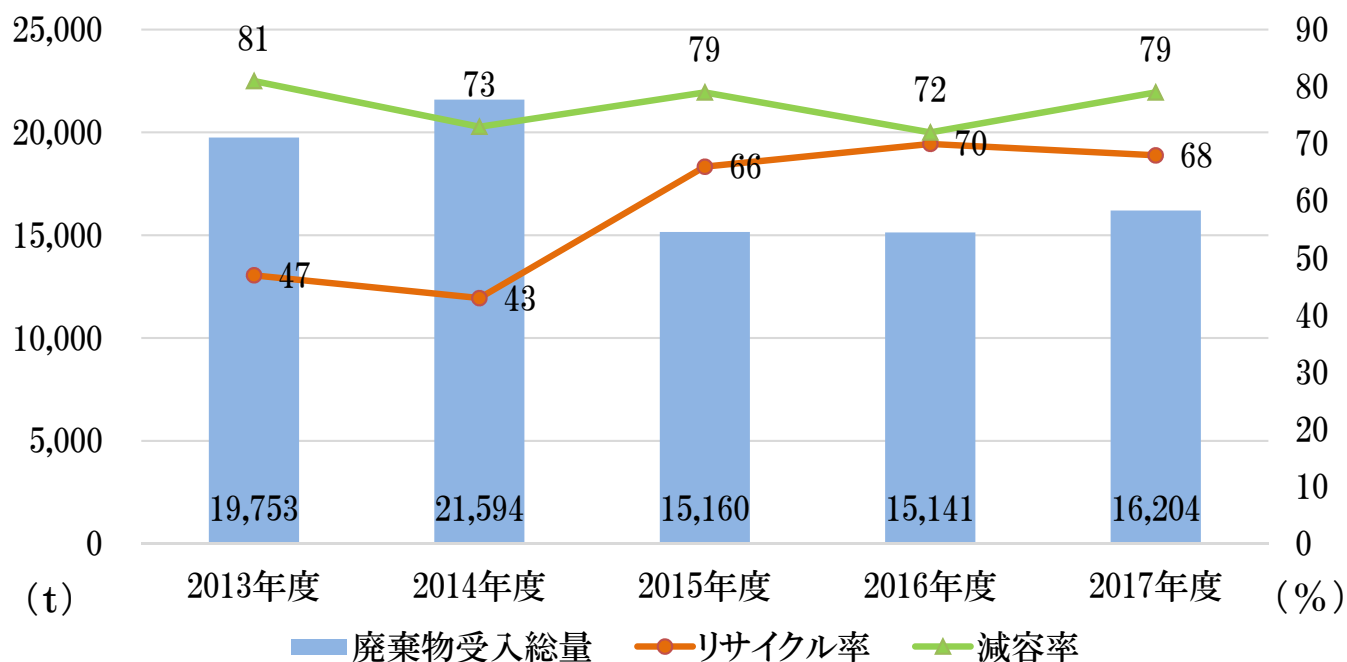
32.3%

リサイクル

67.7%

(前年度比 2.6%減)

## 処理状況推移





### 3. 環境貢献活動

#### 電気自動車によるCO<sub>2</sub>排出量削減

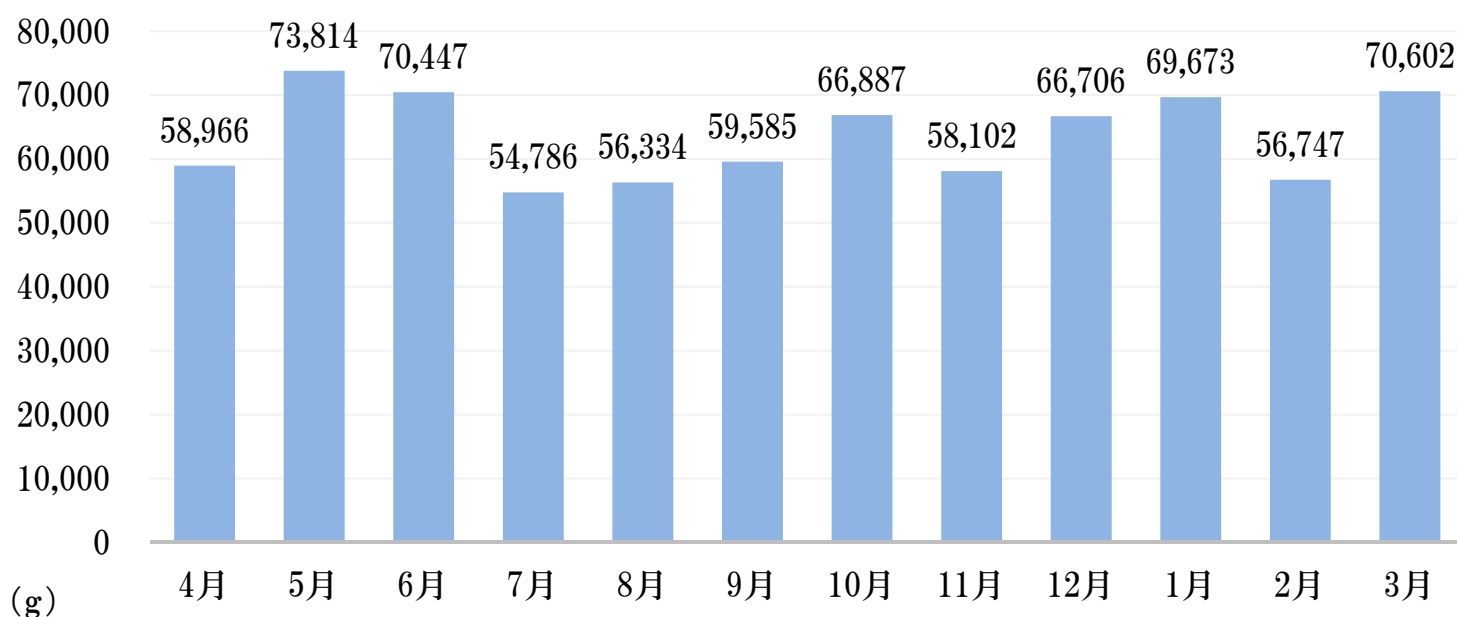
三菱自動車製電気自動車「i-MiEV」の使用によるCO<sub>2</sub>排出削減量のグラフです。電気自動車の稼働率を高める事により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。

2017年度のCO<sub>2</sub>排出削減量は杉の木54本分相当となりました。



三菱自動車製電気自動車「i-MiEV」

#### ■ 電気自動車利用によるCO<sub>2</sub>排出削減量



※ 電気自動車1km走行当たりのCO<sub>2</sub>排出削減量 =  
普通自動車1km走行当たりのCO<sub>2</sub>排出量 - 電気自動車1km走行当たりのCO<sub>2</sub>排出量

CO<sub>2</sub>排出削減量合計 762,648 g (前年度比12.7%増)

杉の木の年間CO<sub>2</sub>吸収量、約14kgをもってCO<sub>2</sub>排出量を換算

杉の木 約54本分 のCO<sub>2</sub>削減

# 太陽光パネル・ハイブリッド照明による発電

本社及びエコミュージアム21には太陽光パネル、ハイブリッド照明を設置しています。太陽光パネルにより発電した電力は、電力会社へ売電を行い環境負荷低減に貢献しております。風力と太陽光併用のハイブリッド照明で発電した電力は、内蔵バッテリーに蓄電され夜間照明に使用されております。

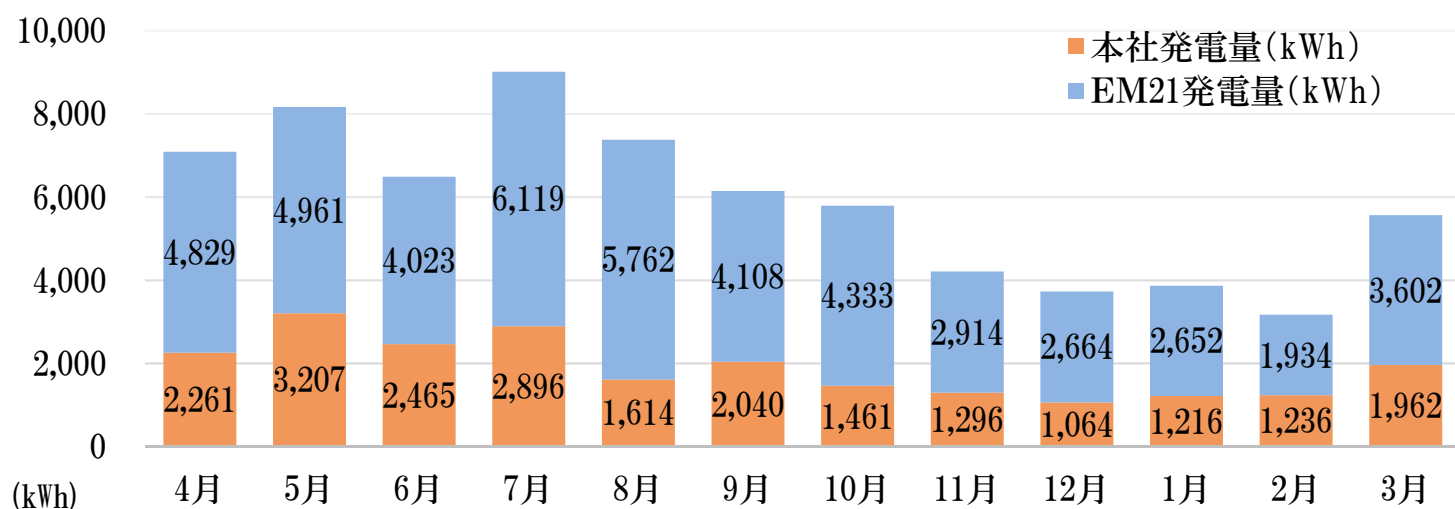


屋上設置の太陽光パネル

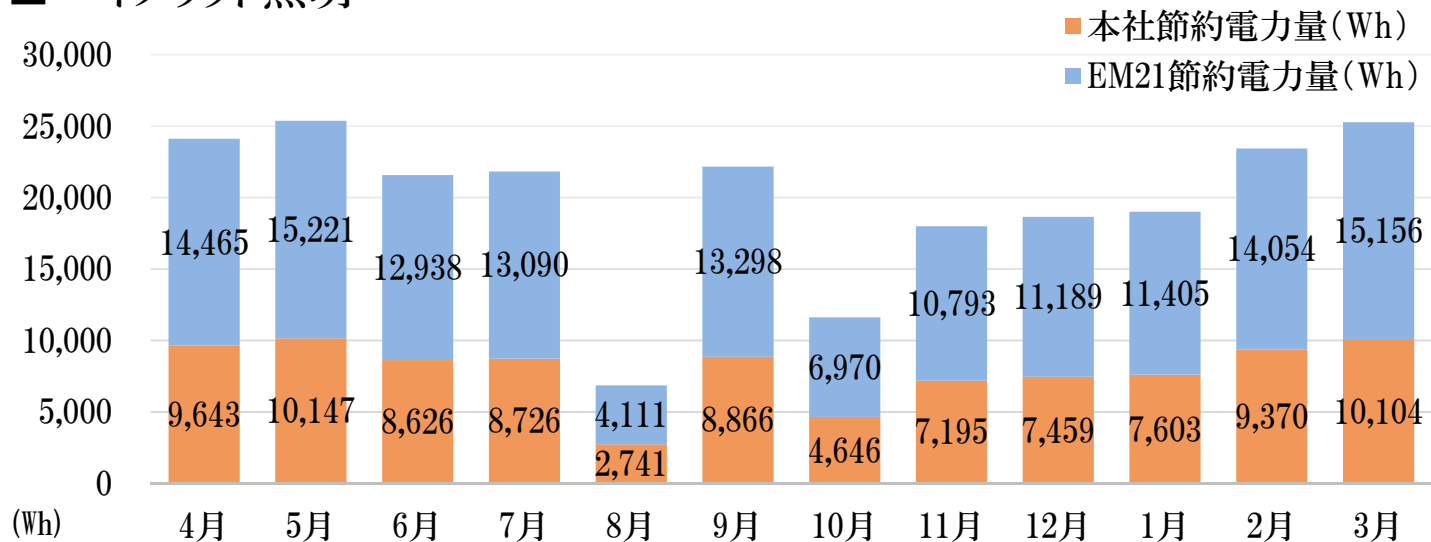


ハイブリッド照明

## ■ 太陽光パネル



## ■ ハイブリッド照明



## 4. IMS -統合マネジメントシステム-

鈴木工業株式会社では環境と労働安全衛生に十分な配慮をしつつ、お客様に提供するサービスの品質向上を目指しております。そのための管理手法として各種認証規格を取得しております。

### ■ 統合マネジメントシステム(Integration Management System)

ISO9001、ISO14001の2015年版移行に伴い、品質(ISO9001)、環境(ISO14001)、労働安全衛生(OHSAS18001)3つのマネジメントシステムを統合いたしました。

【2017年10月1日運用開始、2018年3月認証取得】

#### ◆ 基本理念

鈴木工業株式会社は、

お客様に満足していただくために、高品質のサービスを効率よくお約束どおり実施します

地球環境に配慮した企業活動が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動から生じるあらゆる環境側面・環境影響の改善を通じ、環境保全の更なる向上を目指します

「人命尊重」を第一とした労働安全衛生への取り組みを推し進め、労働災害の防止と職場環境の更なる向上を目指します

#### ◆ IMS方針

##### 1.顧客満足の取り組み

お客様の視点で考え、常に変革と改善を求めて行動します。

プライドと責任をもって、確実かつ適切に行動し、「満足」から「感動」の実現を約束します。

##### 2.環境負荷低減の取り組み

産業廃棄物の適正処理により、「環境保全」「減容化」「再資源化」を推進し、環境負荷の軽減を図り自然および地域社会との協和に取り組みます。

##### 3.無事故、無災害の取り組み

労働災害および公衆災害の防止は企業の社会的責任と位置づけ、当社で働く全従業員の安全と健康を確保し快適な職場環境を作ります。

##### 4.法令・規則事項の順守

事業活動に伴い適用される全ての法規制、そのほか当社が同意した要求事項・自主基準を順守します。

##### 5.継続的改善

当社の事業活動において生じる課題、利害関係者の要求事項、環境影響・重大リスクを特定、目標を設定し、定期的に確認見直しを行い、継続的な改善を推進します。

##### 6.意識の向上

IMS方針は全従業員が理解できるように研修、掲示板等を通じて組織の管理下で働く人々に対し周知します。

##### 7.方針の公開

IMS方針はホームページ等を通じて一般の人が入手可能なものとします。

鈴木工業株式会社  
2017年10月1日



# 品質マネジメントシステム（ISO9001）

## 実施内容

### ■ 仙台市公認排水設備工事者の承認

前年度の給水設備工事公認店に続き、排水設備工事公認店の承認を受けました。  
上水・下水の新規取り付け、修繕業務が可能になりました。

### ■ 資格取得支援

資格取得者の増員により業務の質が向上しました。  
さらなる技術向上を目指し、研修会等にも積極的に参加しております。

#### ◆ 2017年度の資格取得数

資格	人数
給水装置工事主任技術者	2名
排水設備工事責任技術者	3名
2級建設機械施工管理技士	1名
2級土木施工管理技士	1名
下水道第3種検定	3名
第二種電気工事士	1名
防火管理者	1名
主任計量者	2名
危険物取扱者(乙4)	4名
運行管理者	2名

### ■ 人員稼働率の向上

効率良く配車をすることにより、人員稼働率の向上を図ります。

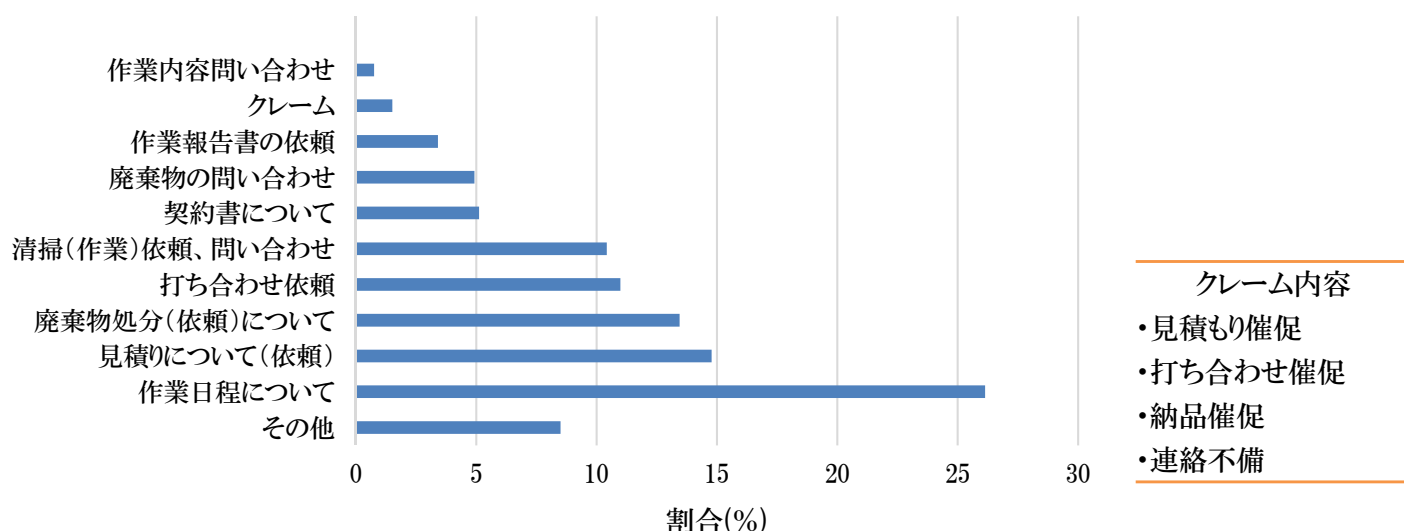
定期物件の事前配車、時間指定解除により、作業の隙間時間を明確化し、隙間時間で対応可能な作業を入れ込むことで人員稼働率の向上を目指しました。

2017年度は前年度に比べ、人員稼働率が3%増加しました。

### ■ 問い合わせ内容の分析

サービス向上のため、HPへの問い合わせ、電話の内容を集計し、分析を行っております。

2017年度の結果を受け、次年度以降改善してまいります。



# 環境マネジメントシステム（ISO14001）

## 実施内容

### ■ 飛散・漏洩防止

運搬・処理の際の廃棄物の飛散、漏洩事故等の環境汚染防止のため社員教育、訓練を徹底しております。飛散事故防止のため、コンテナに積み込む際は、積込前の腐食個所や穴が開いてないかの確認、搬出前の確認をルール化いたしました。

### ■ 処理施設の点検・清掃

処理施設が滞りなく稼働するように、設備の点検を行っております。廃棄物の処理を滞りなく適切に行うことで、環境負荷の低減に貢献します。処理場内の定期清掃を行い場内を常に清潔に保つことにより、事故の発生を防ぎます。場内を視察にいらっしやったお客様からも好評価を頂いております。

### ■ 低公害車の導入

騒音規制車、燃費基準向上達成車を導入いたしました。燃費基準向上達成車の導入によりCOや、CO<sub>2</sub>などの大気汚染物質の排出量が少なくなり、環境負荷を低減します。



### ■ 脱水機の入替工事

無機汚泥脱水処理施設の脱水機の入替工事を行いました。入替後の処理能力は入替前と比べ、3.2%向上しました。質の高い処理を行い、リサイクル率の向上に努めてまいります。



#### ◆ 処理能力

脱水機2基1施設 64.0 m<sup>3</sup>/日 (8.00[m<sup>3</sup>/h]×8時間)



# 労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS18001） 実施内容

## ■ 事故防止対策

ドライブレコーダーを設置し、映像の分析結果から危険運転への注意喚起、危険運転防止策の検討を行っております。また、従業員の意識の向上のため研修会にて危険運転の動画上映を行っております。

## ■ 安全衛生委員会

安全衛生委員会は、関係法令の定める処により、会社の業務安全、衛生及び交通安全に関わる重要事項について従業員の意見を聴き取り理解と協力を得て、災害防止対策に関する諸施策をより効果的なものとする事を目的としております。

安全衛生委員会の2017年度の活動内容です。

通年予定		活動報告
4月		インフルエンザへの注意喚起
5月		ストレスチェックの実施/熱中症の注意喚起
6月		労働災害防止強化月間/熱中症対策
7月	安全パトロール	熱中症対策/夏の交通安全月間
8月	車両点検	深夜業検診、有機溶剤・特化物検診実施/熱中症対策
9月		全国秋の交通安全機関
10月	アルコールチェック	ストレスチェック面談実施
11月	現場KYK	インフルエンザ予防接種
12月	ヒヤリハット	安全強化月間
1月		安全大会実施
2月		交通安全週間
3月		年度末交通安全月間

## ■ 安全大会

グループ会社社員も含め毎年1月に安全大会を実施しております。今年度は、最近の事故発生状況と事故事例及びヒヤリハット事例発表、外部講師による危険予知と職長の指導の在り方についての実演訓練、AEDデモ訓練等を行いました。

社員全員の安全に対する意識をより高め、作業事故ゼロを目指します。



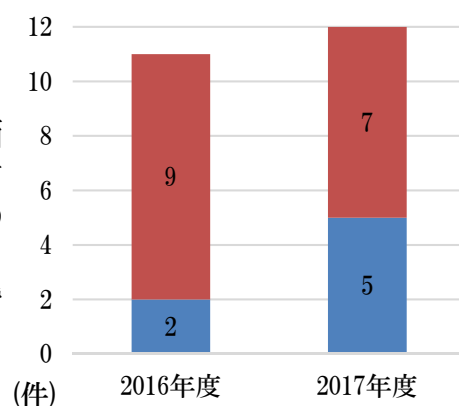
2018年 1月6日 安全大会

## ■ 事故発生状況

交通・車両事故、作業事故の集計結果です。

前年度と比べ交通車両事故の件数は増加しています。交通・車両事故の原因の多くは危険予知不足から起きたものでした。その一方で、作業事故は件数が減少しました。作業時の危険予知や指導の結果、前年度よりも事故の発生が抑えられたと考えられます。

次年度以降は危険予知についての指導を徹底し、事故ゼロを目指します。





## 5. 社会貢献

### わたしたちの 森づくり事業 『みんなの森』

鈴木工業株式会社は、宮城県利府町役場北方に位置する県有林に「みんなの森」と名付け、宮城中央森林組合及び宮城県森林インストラクター協会のご協力を得て社員や社員の家族、仙台市内の保育園児を招いての森林整備を実施しております。そのほかにも森の観察会などの自然環境活動の場として活用しております。この事業で温暖化防止に寄与するCO<sub>2</sub>の吸収量は、年間で約30tの見込です。

#### 活動内容

- 平地の遊歩道づくり活動
- 果樹等の植樹活動
- 樹名板設置活動
- 植樹地の除伐・枝打ち活動







## やまとまちあから 保育園の園児たち

今回も「やまとまちあから保育園」の園児を招き、合同で活動を行いました。森の畑で育てたハツカ大根の収穫や、森で手に入れた材料を使ってのネイチャークラフトなど盛りだくさんの内容となりました。



### 活動内容

- 森づくり活動
  - 巣箱づくり
  - 甲虫養育溝づくり
  - 畑づくり活動
  - ベンチづくり活動
- レクリエーション活動
  - 虫とり・葉っぱ遊び
  - ネイチャークラフト
  - おおごえコンテスト







2018年 1月14日 「大崎八幡宮松焚祭」

## 大崎八幡宮 松焚祭 裸参り

国寶大崎八幡宮で行われる「松焚祭」は全国でも最大級の正月送りの行事です。1月14日の夜、境内の一角に近郷近在より持ち寄られた門松・注連縄・松飾り等は、日没の頃「忌火」により点火され焚き上げられます。この火は正月の間に各家庭を訪れていた神々を送る「御神火」として、あたると心身が清められ、一年間無病息災・家内安全の加護を得ると言い伝えられています。

鈴木工業株式会社は、この「御神火」を目指して参拝する「裸参り」に参加しております。2017年度は32名が参加いたしました。

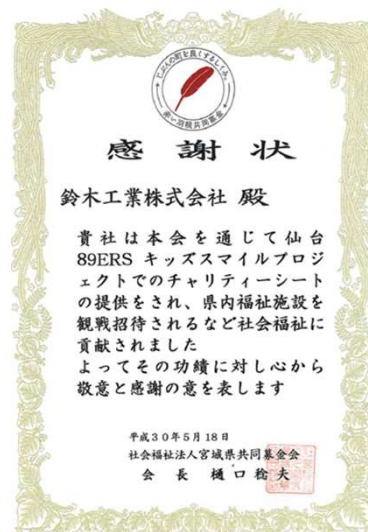




## 社会福祉事業 の支援

鈴木工業株式会社は、仙台89ERSが行っている社会福祉事業(キッズスマイルプロジェクト)をサポートしております。

キッズスマイルプロジェクトとは福祉施設の子ども達や、被災地の子ども達をプロバスケットチーム仙台89ERSの試合会場に招待する事業です。



## 交通死亡事故 ゼロキャンペーン

4年目になる「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」への取り組みに対して、宮城県警察本部様より感謝状を頂きました。今後もなお一層交通死亡事故の抑止を目指し本キャンペーンを推進してまいります。



2018年 2月21日 宮城県警察本部様

## 清掃ボランティア

鈴木工業株式会社では、地域清掃活動のお手伝いを積極的に行っています。写真は、亘理町主催の地域清掃ボランティアのお手伝いをさせて頂いた時の様子になります。今後も生活環境の美化と自然環境保全の為、清掃活動に協力してまいります。



2017年 7月1日 「亘理町清掃ボランティア」

## 「杜の都ハートエイド」制度

本社、エコミュージアム21、再生館にはAEDを設置し、応急手当に協力する体制を整えております。各事業所は「杜の都ハートエイド」制度の協力事業所に認定されております。



本社 AED設置場所



杜の都ハートエイド

〔応急手当協力事業所〕

・この施設には、AEDが設置されています。  
・緊急時には、声をかけてください。

事業所名 鈴木工業株式会社

仙台市消防局



# 6. BCM -事業継続マネジメント-

BCM【事業継続マネジメント】とは、組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させる為の活動を指します。鈴木工業株式会社では、協力先企業であるサプライヤー(仕入先)や県外同業者や協会団体へ、非常事態時の連携強化となる「お互い様の取り組み」を提案し、互いの事業継続能力の維持・改善を進めております。

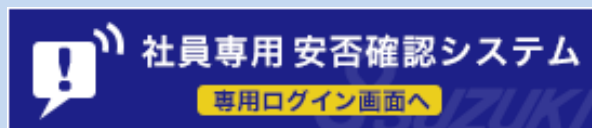
## 安否確認システム

鈴木工業株式会社では東日本大震災の経験を踏まえ、災害時に従業員の安否を確認する手段として独自の「安否確認システム」を導入いたしました。災害時には、安否確認だけでなく会社からの指示を伝えることも可能です。

社員は、ホームページ上からログインし、安否状況を報告します。

### 安否確認システムを使用する状況

- 地震の震度が5強以上の時
- 津波警報発令時



## BCP委員会

BCP委員会では主に、マニュアルの改定、社内研修での訓練、資材備品の準備を行っております。緊急事態発生時には、災害復旧のための活動を主導します。



2017年10月28日 炊飯訓練

	活動	内容・演題
2017年7月25日	「防災ネットきずこう会」にて講演 (愛知県高浜市)	BCMによる東日本大震災からの復旧・復興について
2017年9月26日	「中小企業のためのBCPセミナー」 にて講演 (大分県別府市)	東日本大震災におけるBCMの活用事例と 震災後の取り組み
2017年10月28日	炊飯訓練	発電機を用いた炊き出しの訓練
2017年11月18日	社内研修会 BCM訓練	Jアラートについて講習 Jアラートに対する行動について討論
2018年1月12日	BCM訓練	Jアラート・火災に対する行動
2018年3月15日	「災害に強いコミュニティのための 市民フォーラム」にて講演 (仙台市若林区)	これからの防災への取り組みについて
2018年3月	安否確認システム運用開始	BCP委員会で定めたルールに則り運用開始



## BCMに関する 講演活動

鈴木工業株式会社は東日本大震災により甚大な被害を受けました。当時の被災状況、BCMによる早期復旧の経験を講演しております。今後も被災地企業の責務として、BCMの普及に貢献してまいります。



2017年 7月25日 「防災ネットきずこう会」



2017年 11月18日 「社内研修会」

## BCM訓練

社員への意識付けの為に社内での研修会の他、「BCM訓練」を定期的に行っております。2017年度はミサイル発射時のJアラート情報に対する行動を社員で討議および訓練を実施いたしました。



2018年 1月12日 「BCM訓練」 16



# 7. 測定結果



エコミュージアム21では分析室を設け、焼却施設から排出される焼却灰・ばいじん、脱水施設から下水道放流する排水等の自主分析を行い、排出基準を遵守するよう努めております。また、搬入される産業廃棄物について、有害な物質が含まれていないか調べる場合もあります。

- ◆エコミュージアム21内  
分析室の分析装置詳細
- ・ガスクロマトグラフ質量分析計
  - ・原子吸光度計
  - ・放射能測定システム
  - ・pH計
  - ・マッフル炉 他

## ■ 焼却処理施設排ガス測定結果

	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> N)	窒素酸化物 (ppm)	水銀 ガス状 (μg/m <sup>3</sup> N)	水銀 粒子状 (μg/m <sup>3</sup> N)
2017/5/30	-	0.01未満	0.008	10未満	40	0.43	0.005未満
2017/5/30～ 2017/6/7	0.84	-	-	-	-	-	-
2017/11/15	-	0.042	0.005	40	17	-	-
2017/11/15～ 2018/1/18	1.4	-	-	-	-	-	-

焼却処理施設から排出されるガスは年に2回、検査機関に依頼し測定しております。

## ■ 焼却処理施設維持管理状況

	実施日
ばいじん除去及び冷却設備メンテナンス	4/9、4/10、4/30、5/1、5/28、5/29、6/18、6/19、7/9、7/10、7/30、7/31、8/20、8/21、9/10、9/11、9/30、10/1、10/2、10/10、10/22、10/23、11/2、11/3、11/26、11/27、12/17、12/18、1/7、1/8、1/20～28、2/10、2/13、3/4、3/5、3/25、3/26

除去したばいじんについては最終処分場にて埋立処理及び、中間処理場にて処理しております。



## ■ 有機汚泥処理施設放流水

種類 [単位:mg/l(pH除く)]	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え 9未満	7.5	6.7	6.3	6	6.7	5.6	6.5	6.6	7.2	6.7	6.9	7.5
BOD	600	5.5	-	-	4	-	-	-	66	-	5.6	-	-
SS	600	3.4	-	-	7.5	-	-	-	150	-	18	-	-
ノルマルヘキサン 抽出物質	30	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-	-	1.3	-	0.5未満	-	-
亜鉛含有量	2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1	0.1未満	0.4	0.2	0.2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄含有量	10	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.5	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
鉛及びその化合物	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
トリクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ジクロロメタン	0.2	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
四塩化炭素	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1-ジクロロエチレン	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,1-トリクロロエタン	3	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ふっ素	8	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
ほう素	10	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380	0.3	-	-	14	-	-	-	44	-	17	-	-

## ■ 無機汚泥処理施設放流水

種類 [単位:mg/l(pH除く)]	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え 9未満	7.5	7.3	6.7	7.4	7.2	7.3	7.5	7.7	6.9	7.2	7.2	7.3
BOD	600	5.5	-	-	2.1	-	-	-	0.8	-	0.5	-	-
SS	600	3.4	-	-	4.5	-	-	-	6.4	-	1.9	-	-
ノルマルヘキサン 抽出物質	5	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-	-	0.5未満	-	0.5未満	-	-
亜鉛含有量	2	0.1未満	0.2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1.4	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄含有量	10	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3	0.3未満	0.3未満	0.3未満
鉛及びその化合物	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
トリクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ジクロロメタン	0.2	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
四塩化炭素	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1-ジクロロエチレン	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,1-トリクロロエタン	3	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ふっ素	8	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
ほう素	10	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380	0.3	-	-	0.4	-	-	-	0.4	-	0.3	-	-





## 本社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目3番28号  
 TEL 022-288-9201 FAX 022-288-9293  
 E-mail info@suzukitec.co.jp



## エコミュージアム21 〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007 仙台市宮城野区仙台北二丁目14番地の3  
 TEL 022-254-0091 FAX 022-258-0403  
 E-mail eco-m21@suzukitec.co.jp



## 再生館 〈産業廃棄物 リサイクル施設〉

〒984-0002 仙台市若林区卸町東四丁目4番25号  
 TEL 022-287-0039 FAX 022-288-9293